



1_タルトやクレープ要素を取り入れたパフェ 2_パフェを考案した児童の皆さん 3_開発の過程や思いを発表 4_「宝物を探すように楽しく食べられる」と試食者 5_児童らが描いた原案の数々

伊達崎小学校5年生の児童らが考案したオリジナルパフェ「ハートレイクフルーツパフェ」のお披露目が11月16日、ピザスタで行われました。

この取り組みは、総合学習の一環で行われ、昨年度のオリジナルピザ開発に続き、今年度はフルーツパフェ開発に挑戦。半田山と半田沼（ハートレイク）をモチーフに、旬の町産果物をふんだんに使用した地産地消のパフェとなりました。児童らは「季節ごとに異なる町産果物を通して、町の魅力を知ってもらえた」と期待を込めました。

伊達崎小×ピザスタ ハートレイクフルーツパフェ開発



1_コシヒカリ、ロイヤルピーチポーク、小松菜、りんごなどの町産食材をふんだんに使用した特別な一食 2_高橋町長と懇談をしながら給食を楽しむ4年生の皆さん

町内の幼稚園、小中学校では11月28日、町産の食材をふんだんに活用した「秋のこおりっ子給食」が提供されました。

幼少期から、給食を通して町産の食材に触れ、町の「おいしい」味わいを知ってもらい、郷土愛を育むために昨年度から始まった本事業。陸合小

町自慢の食材味わい郷土愛育む 秋のこおりっ子給食



醸芳幼稚園年長組の発表会が12月15日、同園で行われ、園児たちは元気いっぱい、日ごろの練習の成果を披露しました。

いるか組は、しりとりをして遊ぶと不思議なことがおこるという劇「へんてこもりへいこう」、くじら組は、

1_投げたりついたり楽しくまりつき（いるか組） 2_みんなで真剣！楽器演奏（同上） 3_縄跳びしながら駆け回る（くじら組） 4_みんなで楽しく元気にダンス（同上） 5_一生懸命練習したまりつき（らっこ組） 6_思いきり跳べた跳び箱（同上）

感謝と誇りを胸に 半田醸芳小150周年記念式典

▶全校生での校歌斉唱と代表児童による発表



明治6年に9つの村が連合して開校した半田醸芳小学校の創立150周年を祝う記念式典が11月21日、同校で行われました。

式では、児童発表が行われ、はじめに武田京介さん（5年）が「いろんなことを教えてくれるこの学校が大好き。これからもずっと歴史が続いてほしい」と発表。次に、菅野咲空さん（6年）が「四季を感じられるところが好き。何年経ってもこの美しい風景を胸に生きていきたい」と話しました。最後に、全校生で校歌を歌い、思いを胸に刻みました。

広告

広告

広告

広告